

1. 件名：検査制度見直しに関する北海道電力株式会社との試運用に関する面談

2. 日時：令和元年11月1日（金） 10：45～11：30

3. 場所：北海道電力株式会社 泊発電所 総合管理事務所 61会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

実用炉監視部門 小坂企画調査官、吉野企画調査官、長澤原子力運転検査官

専門検査部門 田中主任原子力専門検査官、尾崎検査技術専門職

泊原子力規制事務所 稲垣所長、津田原子力運転検査官

北海道電力株式会社

泊発電所 次長 他20名

5. 要旨

(1) 令和元年10月1日から10月4日及び10月28日から11月1日にかけて北海道電力株式会社（以下「北海道電力」という。）泊発電所で「品質マネジメントシステムの運用（PI&R）」（以下「PI&R」という。）に係る検査ガイドのチーム検査の試運用を行ったことから、原子力規制庁と北海道電力とで、配布資料（1）の事業者意見も踏まえ、当該試運用に関する意見交換を以下のとおり行った。

(2) 北海道電力から、質問事項や提示資料等を原子力規制庁側がホワイトボードに書き出したため、認識の共有及び質疑対応が効率的に行えたので、今後も継続してほしいとの意見があった。

一方、ホワイトボードの質問事項に対する回答において、必ずしも質問事項の意図に合った回答となっていなかった場面も見受けられたので、今後はホワイトボードの記載内容の意図の確認をしっかりと行いたいとの意見があった。

(3) 原子力規制庁から、今回は、ホワイトボードの活用のほか、同様の機能を有するホワイトボード携帯シートを活用して有効であったことから、今後も続けていきたいと回答した。

ただし、ホワイトボードには、こちらの考え方を記載しているので事業者の方にはわからない点や、詳細な内容が不明な点等については、その都度、質問して欲しいと伝えた。

6. 配布資料

- (1) 試運用フェーズ3 チーム検査実施後の振り返り (BQ0010「品質マネジメントシステムの運用 (P I & R) 検査ガイド」) (北海道電力資料)